

社会・教育 ご担当者さま

子どもを大切にしない国 ニッポン

—元児童相談所職員の考察と提言

竹中力

いじめや体罰
虐待・自死から
子どもたちを
いかにして
守るか

2023年5月5日刊 発行所 石風社
定価：2750円(本体2500円+税)
四六判上製 本文352頁
ISBN978-4-88344-318-5 C0036

>>> プロフィール

竹中力 (たけなか ちから)

昭和 24年、柳川市にて出生。伝習館高校卒業。大学で少年非行学を専攻。福岡県に就職。児童自立支援施設、児童相談所等で指導員、児童福祉司、施設長、相談所長などの職に従事。退職後、国の九州地方更生保護委員会の委員に就任し、九州管内の刑務所服役者、少年院入所者等の仮釈放、仮退院審査に従事。退官後、スクールソーシャルワーカー、家庭裁判所家事調停員、短大非常勤講師等の業務の傍ら保護司として更生保護に従事し、10年。信条：子どもファースト 趣味：新聞の切り抜き(非行、虐待、いじめ・自殺、子どもの事故、子どもを狙った犯罪などスクラップブック 70冊) 特技：料理。手料理で、昔の仕事仲間を集めて酒宴を催すこと。

子どもを大切にしない国 ニッポン

元児童相談所職員の考察と提言

Takenaka Chikara

竹中力

装丁
毛利一
枝

親・児相・施設職員・保育士・教師・医師・市町村職員 etc...

子どもの命に携わる人たちの必読書

保護者から現に虐待を受けている子どものほとんどは、死を選ぶことなく耐えているというのが実状である。学校におけるいじめと家庭における虐待との違いは、同じような精神的・肉体的迫害を受けていながら、子ども同士間でいじめを受けるということは、本人にとっては一切妥協のない外圧や人間疎外、逃げ場のない学校生活、自尊心の重篤な傷つきといった厳しい状況の中で生活していることであり、家庭内の虐待の場合は、暴力やネグレクトを受けていても、哀しいことであるが、多くの子どもが親に対して、いつかは、自分を愛してくれるかも知れないという切ない期待、希望を持っていること、この差の違いではないかと考える。〔本文〕より

* * *

ご注文書	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-88344-318-5	
【貴店番線印】				子どもを大切にしない国 ニッポン —元児童相談所職員の考察と提言 竹中力 著 定価：2750円(税込)	
取扱	地方小出版流通センター、鎌谷書店、きんぶん図書を 通して全ての取次ルートに対応しております。		石風社	福岡市中央区渡辺通2-3-24ダイレイ第5ビル5階 092 (714) 4838	

【ご注文は石風社 FAX:092 (725) 3440まで】